

平成 28 年 3 月 20 日

Re: 反日プロパガンダへの反証

* はじめに ー 反日勢力の類型

1) 反日勢力

全共闘、革マル派、朝鮮総連、挺対協、世界抗日連合

2) 反日勢力と繋がっている政治家（資金援助、選挙協力、思想に共鳴）

福島瑞穂、菅直人、枝野幸雄、辻元清美、有田芳夫、白眞勲、江田五月、糸数慶子

3) 今さら転向出来ない、その組織でしか生きるすべを知らない連中

共産党、日教組、生協、朝日新聞、岩波書店、アジア女性センター等人権団体

4) 善人ぶりたい、アンチテーゼとしての戦前批判をする政治家、知識人

河野洋平、鳩山由紀夫、村山富一、岡田克也、大江健三郎（代表的戦後民主主義者）

5) 論理的思考が出来ない

田島陽子、和田春樹、山口二郎、SEALS

代表的プロパガンダ： 戦前、アジア諸国に甚大な被害をもたらした。

例：村山談話 「我が国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました。」

反証 1 インドネシア (350 年間オランダの植民地)

* 2006 年 BBC の調査。 世界に良い影響を与えている国は？ という質問に対して、85% の国民が日本と回答。

* 独立宣言書の日付は皇紀 2605 年と記されている。

* 1977 年大統領補佐官ムルトボの発言。 「大東亜戦争はアジア独立のためであって、本来ならアジア人が戦うべきであったが、日本人が敢然と立ちあがって犠牲になった。」

- * 独立運動に加わった 2 千名の日本人は勲章を授けられ、独立記念日の王宮でのセレモニーに貴賓として招待された。亡くなった後は、英雄として国立墓地に埋葬されている。



ジャカルタのカリバタ英雄墓地

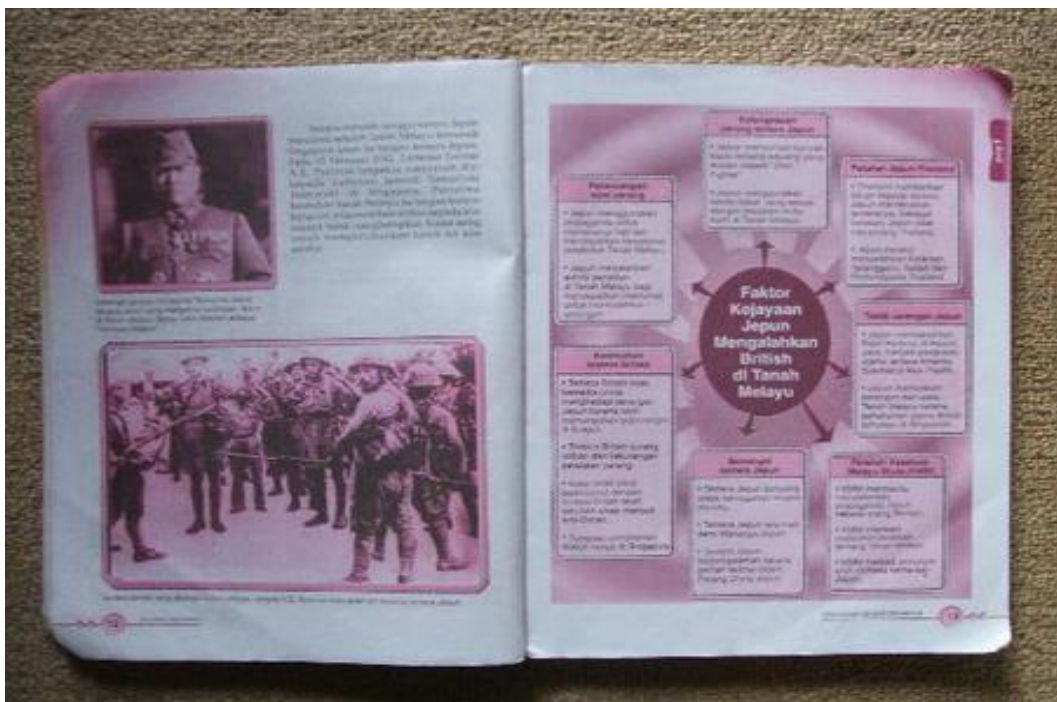
- * 2002 年ユドヨノ大統領の発言。「日本軍の進攻がインドネシアの独立に繋がった。」
- * 1958 年ハッタ副大統領の発言。「日本から戦後賠償金をもらうことになったが、日本は独立の恩人なので賠償とは考えていない。独立の祝賀金として受け取りたい。」
- * 統一言語としてのインドネシア語の普及、祖国独立軍 (PETA)、教育制度の拡充を指導したのは日本人であると教科書に明記されている。

反証 2 - ミャンマー (ビルマ) (120 年間イギリスの植民地)

- * 独立宣言書に「ビルマ人はアジアを結合せしめ、アジアを救う指導者を待望しつつありしが、遂にこれを大日本帝国に発見せり。ビルマ人はこのビルマへの最大の貢献に対する日本への感謝を永久に記録することを希望する。」記述されている。
- * アウン・サン将軍 (スーチー氏の父) が親日家であった。日本軍の特殊訓練所で訓練を受ける。来日時に旭日章授与。面田紋次と名乗っていた時期がある。のちに日本軍とは袂を分かたが、イギリス軍を撤退させたことに対する評価は揺るがない。アウン・サンが日本の教育を受けたがゆえに英雄になったと教科書で紹介されている。
- * 2014 年のミャンマー初の世論調査において、ミャンマーにとって重要な国、行ってみたい国、働きたい外国企業等、ほとんどの設問で日本が第一位。

反証 3 – マレーシア/シンガポール (130 年間ポルトガルの植民地、180 年間オランダの植民地、120 年間イギリスの植民地)

- * 1992 年マハティールの発言。「もし日本なかりせば、欧米諸国が世界の工業を永遠に支配しただろう。南側諸国は貧困を強いられ、欧米には太刀打ち出来ないと信じていただろう。そうした国々でも立派にやっていけることを証明したのは日本だった。」
- * マレーシアの国定歴史教科書は日本陸軍がコタバルに上陸したことから記述が始まり、日本がイギリスを追い払ったことで独立を勝ち取ることが出来たと明確に記されている。



マレーシアの教科書

- * 歴史学者ザイナル・アビディーンの言葉。「日本軍政は東南アジアで最も政治的意識が低かったマレー人に、種を撒き、成長させ、民族主義の台頭と発展に大きな役割を果たした。」

反証 4 – インドシナ (カンボジア、ラオス、ベトナム)、(100 年間フランスの植民地)

- * カンボジアではシアヌーク国王の時代に日本が一時的に統治。戦後賠償を放棄。昭和天皇を訪問。日本を解放軍とする映画を作成。王子に TOKYO という綽名をつけた。後年、ポルポト時代に国土が荒廃。日本の ODA で建設された橋に KIZUNA という名が付けられ、現地紙幣の図柄に採用された。

- * ラオスは日本の ODA によって親日になっている感がある（あちこちに日本人によって建設されたインフラを讃える看板がある）が、日本が駐留フランス軍を制圧した時代（明号作戦）に独立出来た影響が大きい。
- * 同じくベトナムも日本がフランス駐留軍を制圧している時に独立宣言している。アメリカと戦った国同士という考え方をする人が多い。

反証 5 - 台湾（200 年間清朝の統治下、但し化外の地、日清戦争後日本の統治下）

- * 2005 年蔡焜燦の発言。「台湾人から何故日本統治に対する批判が出ないのか？ それは戦前の日本人は立派であり、日本による台湾経営が素晴らしかったからである」。後藤新平、新渡戸稲造、八田与一など第一級の人材を投入。教育制度の普及（台北帝国大学）、農業の振興、疫病の撲滅。



烏山頭ダムに八田与一の銅像

- * KANO - 1931 海の向こうの甲子園が空前の大ヒット。
- * 「日本精神」という言葉が残っている。人物に対しては「真面目、礼儀正しい」、商店、レストランに対しては「誠意がある、信用を重んじている」という意味で使われている。

- * 2014年李登輝の日本講演。「日本の若い人がかわいそうなのは、昔の日本がアジアを侵略した悪い国だったと一方的な教育を受けていることだ。日本の学校では、日本は台湾を植民地にして人民を搾取し、苦しめて来たと教えられているだが、それは真っ赤な嘘だ。多くの能力ある日本人が台湾のために働いた。そのおかげで今の台湾がある。」

反証 6 - パラオに代表される南洋諸島（16世紀以降、スペイン、ドイツの植民地、第一次世界大戦後のパリ講和会議で日本の統治下）

- * 国旗は日章旗に敬意を表している。



パラオの国旗

- * 今でも日本語が多く残っている（ビールのことを「ツカレナオス」、おいしいことを「アジダイジョーブ」という。
- * タケシ、カズオ、フミコなど子供に日本風の名前を付ける人が今なおいる。

まとめ

人種差別が当たり前だった時代、欧米列強国家に対抗出来る有色人種国家は日本しかなかった。話し合いで過酷な植民地支配が終焉を迎えるはずもなく、誰かが戦わなければならなかった。それが日本の宿命だったとも言える。さもなければ、21世紀になってもかつての植民地国は植民地のままだったはず。植民地国が独立を果たしたのは日本のおかげであるというのが、東南アジア諸国の共通認識。また、日本の統治は極めて妥当なものであり、その国の教育、インフラ整備に多に貢献している。醜悪なプロパガンダで先人の功績を否定するような連中など見向きもされなくなる日がまもなく来ることを切望する。